

# 令和8年度当初予算 能美市の予算と施策

問/財政課 (☎ 58 - 2203 ■ zaisei@city.nomi.lg.jp)



## 全体像とポイント

※前年度比は、令和7年度は当初予算が骨格予算であったため、6月補正予算を加えた予算額との比較です。  
令和8年度当初予算の一般会計、特別会計、企業会計の予算総額は、516億7,640万円と前年度比1億3,139万円、0.3%の減となりました。このうち一般会計の総額は、歳入歳出それぞれ294億円となり、前年度比2億1,300万円、0.7%の減となりました。

## 歳入

市税の総額は過去最高額となる前年度比3億3,000万円、3.7%増の93億円を見込みました。個人市民税は納税義務者の増加に加え、賃上げなどによる給与収入の増加により増収を見込みました。固定資産税のうち土地については、地価は下げ止まりとなったものの、特例措置による課税免除が新たに見込まれることから減収となっている一方で、家屋および償却資産については、新增築や企業の設備投資が進んだことにより増収を見込みました。地方交付税は国税収入の増加などが見込まれることから前年度比4,000万円、0.8%増の51億5,000万円としたほか、市債は前年度比3億1,636万円、8.2%減の35億6,136万円としました。

## 歳出

民生費は福岡保育園建設用地造成工事による増額がある一方で、民間認定こども園2園の施設整備事業が完了したことなどにより、前年度比2億2,997万円、2.1%減の106億4,990万円を計上しました。公債費は借換債の減額がある一方で、「ほっと石川観光プラン推進ファンド」貸付金の原資となる借入、令和6年能登半島地震の災害復旧事業の償還増額などにより3,464万円、0.8%増の43億5,903万円を計上しました。教育費は物見山陸上競技場の公認取得に向けた整備・改修、寺井小学校・福岡小学校外壁改修や根上総合文化会館LED改修工事などのための事業費により、前年度比6億7,870万円、19.9%増の40億9,288万円を計上しました。総務費は標準化システムの移行完了、能美根上駅の周辺活性化整備事業の工事完了などに伴い、前年度比6億7,590万円、15.9%減の35億6,640万円を計上しました。衛生費は能美市立病院会計への繰出金の増額などにより、前年度比1億600万円、5.2%増の21億5,502万円を計上しました。

CONTENTS / 目次

- 2 特集 能美市の予算と施策
- 7 市民と市政の歩み
- 8 能美市から暮らしに関する情報お知らせ
- 20 催し・募集
- 21 情報ひろば
- 22 連載
- 26 4月の相談・4月の国際交流
- 27 主要行事・イベント実施予定  
今月の口座振替・児童手当4月定例支給・美化センター休場
- 28 ガルガンチュア音楽祭  
世界の名車がやってくる「La Festa Primavera2026」  
市ホームページのURL変更

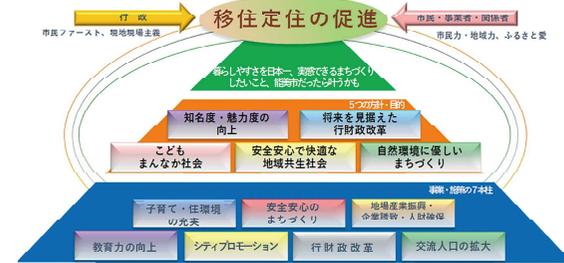
## 予算編成の方針

能美市を取り巻く情勢・課題としては、激甚化・頻発化する自然災害への対策、地域共生社会の実現やウェルビーイング指標の向上、一人でも多くの子どもを産み育てやすい社会の実現、SDGs 未来都市としての取り組みの推進に加え、今後控える公共・生活インフラ施設の老朽化対策や強靱化に向けた建て替えや改修といった大型事業を推進していくための財源の確保などがあります。

令和8年度はこれらの諸課題に対し、今後30年、50年と続く能美市の発展に向けて、「暮らしやすさを日本一、実感できるまちづくり」の実現のため、事業・施策の7本柱と5つの方針・目的に基づき予算編成を行いました。

## 予算の全体像

本市においては、事業・施策の7本柱のもと、全ての施策が移住・定住の促進につながるよう事業を展開しています。



## 5つの方針・目的

### 安全安心で快適な地域共生社会

市民の生命と財産を守ることを最優先に取り組み、デジタル技術や市民力・地域力を生かし、医療・福祉の充実を図り地域共生社会を実現します。

### 知名度・魅力度の向上

ウェルビーイング指標の向上とふるさと愛の醸成を目指し、市内外の住民や事業者から選ばれる地域、仕事や余暇を楽しむ場づくりと情報提供を実施します。

### 子どもまんなか社会

妊娠期から青年期まで切れ目のない支援体制と明るく元気に学校生活を過ごせる環境を整備し、子どもを産み育てやすい社会を創出します。

### 自然環境に優しいまちづくり

日本の原風景や自然を守り、地球温暖化対策の推進、資源の有効活用、農林業の振興、公共交通の利用促進、環境教育の推進を全市民が参加・参画するSDGs 未来都市として実行します。

### 将来を見据えた行政改革

健全化判断比率の維持・改善、基金に頼ることの無い財政運営を目指し、全ての事業・施策のスクラップ&ビルドを推進します。

## 統計資料 人口と世帯数

令和8年3月1日現在

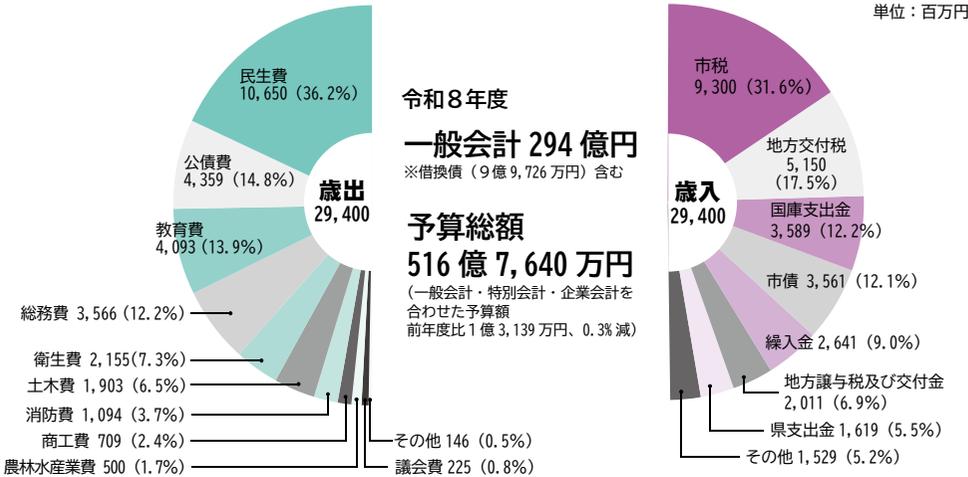
- 人口 49,672人 (前月比 - 34)  
男 24,729人 女 24,943人
- 世帯数 20,708世帯 (前月比 - 10)

## 市内の犯罪・交通事故などの発生件数

	令和8年2月	年累計	累計前年比
住宅等の侵入盗 ※1	1件	1件	±0件
非侵入盗 ※1	4件	5件	-4件
交通人身事故 ※2	7件	13件	+4件
交通事故死者 ※2	0人	0人	±0人
交通事故負傷者 ※2	8人	16人	+6人
火災発生	0件	0件	±0件
救急出動	179件	399件	- 33件

※1 令和8年3月12日時点  
※2 令和8年3月18日時点

データ提供 能美警察署・能美市消防本部



単位：百万円

令和8年度  
一般会計 294億円  
※借換債 (9億9,726万円) 含む  
予算総額  
516億7,640万円  
(一般会計・特別会計・企業会計を  
合わせた予算額  
前年度比1億3,139万円、0.3%減)

## 特別会計・企業会計

▶特別会計…国民健康保険など一般会計とは区別が必要な事業の会計  
▶企業会計…水道など料金収入で運営している事業の会計

特別会計					
国民健康保険特別会計	44億7,300万円	介護保険特別会計	47億1,500万円		
後期高齢者医療特別会計	9億9,600万円	温泉事業特別会計	1,150万円		
企業会計					
水道事業会計	収益	9億8,090万円	下水道事業会計	収益	28億390万円
	資本	11億2,000万円		資本	19億860万円
工業用水道事業会計	収益	5億5,440万円	市立病院事業会計	収益	30億1,120万円
	資本	12億2,370万円		資本	4億7,820万円

【ふるさと愛の醸成・地域力の強化】

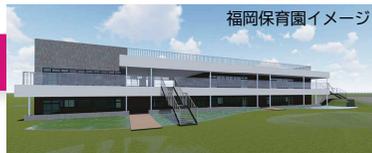
- ・陸上競技場公認取得事業（2億8,762万円）  
物見山陸上競技場の第2種競技場としての公認期限が令和8年9月に満了することに伴いトラックの全面改修を実施し、継続して第2種競技場の公認を取得するとともに、より快適な競技環境を整備

【シティプロモーション】

- ・シティプロモーション事業（1,026万円）  
知名度向上・交流人口拡大に向け、バスラッピング広告の実施など各種広告宣伝媒体を活用したPRを行い能美市の魅力を発信
- ・キャラクター活用事業（149万円）  
市公式キャラクターの着ぐるみ登場回数の増加やぬいぐるみの製作・販売、全国ご当地キャラクターイベントに参加しシティプロモーションを推進
- ・映画活用によるプロモーション推進事業（200万円）  
大都市圏で、映画の放映前に流れるシネアド広告を実施し、能美市のPRと知名度向上を図る
- ・観光まちづくり推進事業（300万円）  
行政と観光関連事業者・学識経験者・市民が共に能美市の観光について考え、行動できる体制強化のため観光まちづくり推進協議会へ補助

- ・市史編纂事業（3,476万円）  
古代から現代に至り、脈々と受け継がれてきた能美市の歴史・文化を「能美市史」として編纂  
令和8年度は資料編「古代中世編」を刊行

- ・プロモーション事業（1,979万円）  
持続的な観光まちづくりを推進するため、次の事業を展開し、観光誘客を促進  
（新たな観光アクションプランの策定、九谷焼ウルトラマンシリーズ15周年記念絵付けコンテスト、辰口丘陵エリアを対象としたデジタルスタンプラリー、3×3（3人制バスケットボール）大会の開催など）
- ・インバウンド観光推進事業（50万円）  
海外インフルエンサーを活用し、能美市の観光情報を国外に向けプロモーションするため、観光物産協会へ補助



福岡保育園イメージ

こどもまんなか社会

【こどもの居場所づくり】

- ・こどもの居場所づくり推進事業（315万円）  
こども（中学生）が地域の中で安全安心に過ごし、学び、交流する居場所を整備。また、市内のこどもの居場所（児童館、こども食堂、学習支援、交流の場など）に関する情報を整理し、こどもや保護者が利用しやすいポータルサイトなどの構築

【保育園整備】

- ・福岡保育園施設整備事業
- ・民間認定こども園施設整備事業（計3億8,274万円）  
民営化に移行する福岡保育園の新園舎建設に向けた造成工事を市発注で行うとともに、社会福祉法人が実施する（仮称）福岡保育園の施設整備に対し補助金を交付  
新園舎完成：令和10年3月頃
- ・おひるねベッド購入事業（614万円）  
令和8年～令和10年度にかけてこどもの衛生的かつ快適な睡眠や、保護者の利便性向上のため、公立認定こども園などに昼寝用のベッドを導入  
令和8年度導入対象：公立認定こども園0・1歳児、能美市病児保育センター
- ・子育て世帯訪問支援事業（40万円）  
訪問支援員が子育てに不安のある家庭や支援の必要な家庭などを訪問し、家事・育児などを支援。非課税世帯の自己負担を無料化、課税世帯へは1か月無料体験を実施

【教育環境の充実】

- ・学校施設長寿命化対策推進事業（2,551万円）  
令和7年度に実施した浜小学校と根上中学校の「耐力度調査」の結果を踏まえ、学識経験者や地元関係者などで組織する、「（仮称）浜小学校・根上中学校 学校のあり方検討委員会」を開催し、今後の施設整備に関する基本計画を策定
- ・学校プール委託事業（221万円）  
近年の酷暑における授業機会の確保や、施設の老朽化などへの対応策として「児童への安全安心な水泳授業の提供」を目的に、学校プールの民間委託を試行的に実施  
対象校：福岡小学校・粟生小学校（3～6年生）
- ・学校防犯対策事業（1,278万円）  
安全・安心な学校運営を更に推進するため、手動開錠となっている児童・生徒玄関への電気錠の設置工事を実施
- ・生成AIパイロット校事業（105万円）  
市内学校現場における生成AIの有効活用について学習会などに参加し、優良事例の創出・普及を行いGIGAスクール構想の加速化を図り、教員の働き方改革と教育の質の向上を図る
- ・学習障害支援ICT活用事業（283万円）  
学習障害のある児童の早期発見や、1人1台端末を含むICT機器を活用した効果的な支援のための実践研究を実施

安全安心で快適な地域共生社会



防災・機能強化施設イメージ

【ハード事業】

- ・市役所本庁舎防災・機能強化事業（6億3,930万円）  
地下1階に設置されている非常用電源設備などを浸水想定区域外に移設、上層階には災害時の応援職員の受け入れスペースを整備し、平時は市民が気軽に立ち寄れるビュースポットと職員の多様な働き方ができるコワーキングスペースとして活用
- ・市道改良事業（5,000万円）  
道路の事前防災強化のため、緑が丘10丁目の道路法面において、湧水が生じている箇所への排水対策を実施

【ソフト事業】

- ・防災センター利用促進事業（219万円）  
防災センター内の4階シアター上映動画の制作や1階地震体験コーナーのパネル貼替を行い、過去の災害を継承する体験コーナーを拡充し、防災意識向上を図る
- ・まちづくり活性化支援金事業（1,110万円）  
物価高騰による町会・町内会運営費の負担を軽減するため、特別支援金を町会・町内会へ支給し、地域の安全安心で快適な暮らしを支える活動や住民同士の交流を深める活動など地域コミュニティ活動の充実を図る
- ・空き家等適正管理対策事業（215万円）  
空き家バンクの情報発信を強化するため、空き家バンクにVR内覧機能を導入
- ・鳥獣被害対策事業（809万円）  
能美鳥獣被害対策協議会に対し狩猟免許・銃砲所持免許更新、狩猟者登録、猟友会会費手数料などの費用を支援し、鳥獣捕獲隊の体制を強化するほか、AIカメラの運用や町会・町内会に対しクマなどを誘引する樹木の伐採に係る補助金を交付
- ・スマートインクルーシブシティ推進事業（1億1,992万円）  
地域未来交付金（未来推進型）を活用し、能美市の活動に共感する市内外の企業を集め、ニーズを調査し、デジタルなどを通じて若者・子育て世代の豊かさ向上や多世代交流を実現する体制を整備
- ・公共交通システム構築事業（115万円）  
能美市の抱える地域公共交通の課題等に対して、将来的な公共交通のあり方を検討

- ・交通安全対策施設整備事業（350万円）  
小学校通学路（和光台）においてガードレール・ガードパイプを新たに設置
- ・消防車両等購入事業（5,783万円）  
寺井消防署の消防ポンプ自動車を、先端が伸縮し360度放水が可能で、効果的な消火ができる区画制圧ノズルを搭載した車両に更新
- ・消防施設等整備事業（861万円）  
金剛寺町、鍋谷町に耐震性貯水槽を新たに整備するための設計・測量・地質調査を実施

- ・新モビリティサービス推進事業（1,225万円）  
のみバスを補完する役割として、地域住民の共助による交通サービス能美市公共ライドシェア「ノルノミ」を運行。今後、利用時間の延長や対象エリアを拡大予定
- ・高齢者運転免許証自主返納促進事業（356万円）  
65歳以上（従来の70歳以上から拡大）の免許自主返納者に対し、免許返納後の自分の生活にあった移動代替手段を体験してもらうため、①能美市コミュニティバスフリーパス券、②買い物代行サービス配送料利用券（新規）、③ノルノミ利用券（新規）のいずれかを交付
- ・定期予防接種事業（2億850万円）  
妊娠28週～37週に至るまでの妊婦に対し、RSウイルスワクチンの定期予防接種を新たに追加
- ・外国人にやさしいまちづくり事業（2,183万円）  
市内の外国人住民が増加していることから能美市国際交流協会の支援体制を強化するほか、町会・町内会や企業を対象に、外国人住民に向けた「やさしい日本語」の活用講座を開催
- ・内水浸水対策事業（7,800万円）（下水道事業会計）  
令和4年8月の大雨で特に被害が大きく、これまでも浸水実績のあった4地区について、新たに内水浸水対策に係る基本設計の着手、都市計画決定などの手続きを推進



知名度・魅力度の向上

【買い物・飲食】

- ・辰口フラワーハウス跡地利用推進事業（3,534万円）  
辰口フラワーハウス跡地に道の駅機能を有する観光交流拠点を整備し、周辺施設との連携を通じて滞在型観光を促進  
オープン（予定）：令和11年秋頃

【ふるさと愛の醸成・地域力の強化】

- ・商工会記念事業補助金（100万円）  
能美市商工会合併20周年を記念して記念講演会開催事業に対して補助  
開催日（予定）：令和8年10月10日

## ・能美ふるさとミュージアム賑わい創出事業(535万円)

のみふる古墳まつりなどの賑わいイベントを開催し、能美市を代表する文化財である古墳のほか、さまざまな文化財を守り受け継いでいくことの重要性を発信



のみふるひなまつりの様子

## 自然環境に優しいまちづくり

### 【ゼロカーボンシティ】

#### ・美化センター太陽発電設備導入事業(1,442万円)

美化センター内の前立立処分場に太陽発電設備導入に向けて測量、事前調査等の準備業務を実施

#### ・道路照明灯一括更新管理事業(ESCO事業)

#### ・公園照明灯一括更新管理事業(ESCO事業)

(計7,600万円)

道路照明灯および公園照明灯のLED化改修をESCO事業<sup>※</sup>として実施(道路照明灯:376灯、公園照明灯:131灯)

※ESCO事業…省エネルギー改修に係るすべての経費を光熱水費の削減分で賄う事業

#### ・市内施設改修事業(計2億1,032万円)

寺井分室の空調・施設照明LED化改修および健康福祉センター別館、根上総合文化会館(音楽ホール、円形ホール、事務室を除く)、宮竹コミュニティセンター体育館、粟生小学校、寺井中学校の照明LED化改修工事を実施

#### ・SDGs推進事業(433万円)

能美市民の魅力あふれる多様な「お人柄」を生かして、子どもをメインターゲットにSDGsを身近に感じられるフィールドワークシヨップなどを開催

#### ・森林環境譲与税活用事業(1,304万円)

経営や管理が適切に行われていない森林の経営の効率化および森林管理の適正化を促進し、林道の復旧を実施。また、林地残材のチップ化を推進するためチップ工場まで搬出する費用の一部を補助

#### ・県営ほ場整備事業(659万円)

県営ほ場整備事業実施のための計画作成や負担金整備後のほ場は、排水量を抑制し、雨水を貯留させる田んぼダムの機能を保有

対象地区:五間堂・中庄地区 事業面積:33.6ha

## 将来を見据えた行財政改革

#### ・持続可能な組織づくり推進事業(550万円)

多様化する市民ニーズに柔軟に対応できる市役所の組織づくりと持続可能な行財政運営の実現に向け、職員の業務見直しや効率化、組織体制の在り方について令和7年度に実施した全庁業務量調査結果をもとに検討を実施

#### ・行財政改革推進検討事業(990万円)

持続可能な行財政運営を行うため、令和7年度に立ち上げた行財政改革タスクフォース(Next Innovation for Nomi)において補助事業の効果検証や施設の維持管理などのあり方を検討

#### ・総合計画・戦略策定事業(1,038万円)

第3次総合計画及び第3期総合戦略が一体となった計画の策定

#### ・立地適正化計画策定事業(1,200万円)

将来の人口動向を見据え、本市の居住機能や都市機能のあり方を整理し、持続可能な「コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりの実現に向け、立地適正化計画を策定

#### ・情報システム更新・改修事業(1億2,995万円)

令和9年度よりeL-QR<sup>※</sup>による公金収納を開始できるようにシステム改修等を実施

※納付書に印刷された2次元コードをスマホなどで読み取ることで、いつでもどこでもキャッシュレスで公金を納付できる仕組み

#### ・AIプラットフォーム支援事業(910万円)

市民からの電話問い合わせに対し、AIによる音声自動応答を導入し、スピーディーかつ的確に市民が手続きを進められる環境を整備することで電話・チャットボットなど複数のチャネルによる自己解決を支援するための案内プラットフォーム構築

#### ・窓口業務アウトソーシング推進事業(2,392万円)

住民異動届や各種証明書などの交付など定型的な窓口業務をアウトソーシングし、専門知識を持つ職員によるスムーズで安定した市民対応を実現

#### ・公用車メンテナンス管理委託事業(1,442万円)

公用車の維持管理に係る業務を一括してメンテナンス委託し、業務負担軽減と安全管理、リスク管理強化を図る

#### ・ウォーターPPP導入可能性調査(3,050万円)

(下水道事業会計)

ウォーターPPP<sup>※</sup>の導入に向けての可能性調査を実施  
※ウォーターPPP…水道や下水道などの水分野において、行政と民間企業が連携して施設の維持管理や更新など行う仕組み

その他の主な事業については、市ホームページ「令和8年度能美市予算のあらまし」をご覧ください。